別記様式第2号別紙

（団体名）一般社団法人ReRoots
（事業名）若林区の地域おこしに向けた農業と農村コミュニティ再生事業　**ロジック・モデル**

インプット

〇ReRootsの学生・スタッフ64名

〇町内会や行政、農家、地域住民との震災以降継続した協力関係

〇資金325万円

活動

①ReRootsファームと農村塾
　学生による地域の遊休地での野菜作りと新規就農者の輩出を行う。さらに農家と連携した農村塾づくりを進め、若手農家育成と農村コミュニティの形成を進める。
②おいもプロジェクト
　年間を通したさつまいもの生育・販売体験のグリーンツーリズム企画。さらに住民自身が地域の魅力を再発見し、地域活性化の意欲を引き出す。
③わらアート
　地域資源である稲わらを用いたオブジェ制作と、稲わら文化の発信。それを通して住民が交流し、コミュニティが形成される。

アウトプット

①ReRootsファームと農村塾
・若者育成によって農家に意欲や元気が引き出される。
・農業の持続に向けた共通認識が生まれ、繋がりが生まれる。
・若手同士の繋がりを生み出す。
②おいもプロジェクト
・地域の魅力に触れファンが生まれ、交流人口が拡大する。
・住民自身が地域の魅力を再発見する。
③わらアート
・被災者や地域に所縁のある人のコミュニティの場となる。
・約7万人が農村に訪れ、稲わら文化を発信し、地域住民が地域資源の魅力を再発見する。
・稲わら文化を活用し、高齢者に元気と集いを生む。

アウトカム

初期

〇地域の農家が繋がり、協力して担い手育成に取り組む。

〇地域住民が農村・農業の魅力を外部に発信する。

〇地域の魅力を形にし、住民のやりがい・生きがいづくりに繋がる。

〇地域のイベントとして発展し、交流人口のさらなる拡大とコミュニティの場が生まれる。

中期

〇若手農家同士の支えあいから、農作業等の共同化を進め地域の共同体が維持されていく。

〇住民がやりがいや生きがいを感じて魅力を発信し、農村コミュニティが維持されていく。

〇グリーンツーリズムの企画立案や実行を農家や住民自身で進め、地域の協働を生み出す。

〇地域の文化が継承され、地域の集いや意欲的な取り組みが生まれる。

長期

〇若者が地域に定着することで農村の担い手が生まれ、地域行事や祭りなども継承される中で農村のコミュニティ形成に繋がる。

〇農家や住民、関係団体やReRootsが協働で動き、農村コミュニティに活力が生まれる。

〇地域内外の交流と住民の主体的な魅力発信の取り組みにより、地域が活性化され、農村が存続していく。